

県南
県央

長崎近郊

県高校発明創意工夫コンクール考案の部で最優秀賞に輝いた齋藤さん

＝大村工業高



▽考案の部＝下釜幸大（長崎工業高1年）岩原由依（同川内将嗣）（同定時制3年）長嶋宏尚（佐世保工業高2年）高嶋隼弥（同3年）馬場祐輔（島原工業高3年）山村果蓮（大村工業高1年）松添成央（同2年）
▽ポスターの部＝河喜多亞美（長崎工業高2年）渡辺めぐみ（同1年）末永大貴（島原工業高2年）外田涼乃（大村工業高2年）

優秀賞は次の通り。
(敬称略)

高校工業クラブ連盟が毎年開催している。本年度は考案の部に4289点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞8点、優良賞11点、奨励賞130点を選出。ポスターの部には554点の応募があり、県立佐世保工業

第51回県高校発明創意工夫コンクールの表彰式と作品発表会が17日、大村市森園町の県立大村工業高であり、考案の部で最優秀賞に輝いた県立長崎工業高定時制建築科2年の齋藤翔馬さん(17)らに賞状や盾が贈られた。

創造力や改善・提案力を身に付けてもらおうと、県高校工業クラブ連盟が毎年開催している。本年度は考案の部に4289点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞8点、優良賞11点、奨励賞130点を選出。ポスターの部には554点の応募があり、県立佐世保工業

長崎工高の齋藤さん、最優秀

表彰式後、齋藤さんは「前回は同じクラスの友人が最優秀賞に選ばれた。今回は自分が選ばれたので驚いた」と喜びを語った。
(左海力也)

齋藤さんの作品は「ノーストレスシェルフ」。食器棚の扉を正面のほかに上部と側面にも付け、奥にある食器を取り出しやすく工夫した。発明したきっかけは「家で食器を使うときに思い付いた」と話し、映像を使つて作品の特長を説明した。

戸

県高校発明創意工夫コン